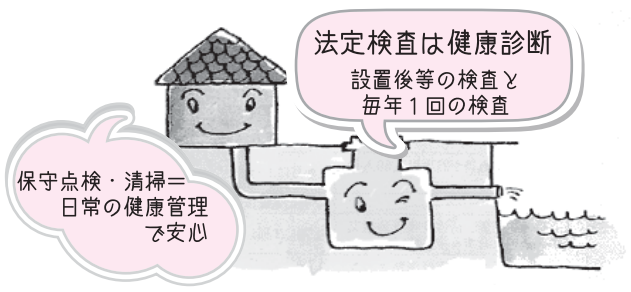
毎年の法定検査で健康診断

県全体の受検率は50%と不十分

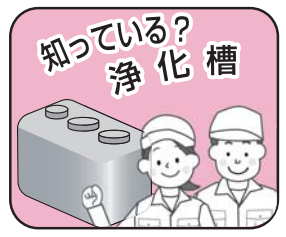


浄化槽は、適正に設置されたうえ、各戸で、それぞれ毎年の保守、清掃、法定検査の受検により、適正に維持管理されて初めて本来の機能を発揮し、水環境保全に大きな役割を果たすものです。

浄化槽の点検、調整、修理を行う保守点検（年三回以上）と、汚泥等の引出し・調整、装置の洗浄等を行う清掃（年一回以上）は、いわば日常の健康管理です。浄化槽の放流水の水質等を検査し、設置状況や保守点検及び清掃の実施状況を確認して、必要に応じて改善を促す法定検査（設置時及び毎年一回）は、健康診断の役割を持っています。浄化槽がしっかり機能するためには、この健康管理、健康診断が大切です。保守点検・清掃は、それぞれ専門の技術が必要なため事業者に委託することが一般的で、法定検査は専門性に加え、検査の客観・公平性の観点から、県知事の指定する検査機関が行うことになっています。

広島県における法定検査の受検率は約五十%で、適正な維持管理ということでは、残念ながら、まだまだ不十分です。浄化槽の適正な管理には、各家庭の浄化槽管理者の皆様に、浄化槽が持つ水環境保全の役割やそのための維持管理の必要性について、理解を深めていただくことが大切です。また、みんなの力で地域の水環境を改善し守っていくため、行政、指定検査機関、保守点検清掃・工事業者など関係者も、機会あるごとにしっかり説明するなど、その意識啓発を進める努力が必要で、協力して取り組んでいきたいと考えています。毎年、清掃、保守点検、法定検査を実施していく適切な維持管理体制を浄化槽関係者総ぐるみで確立し、地域のきれいな水環境を将来の世代に引き継ぎましょう。

（広島県環境県民局　循環型社会課）



② 維持管理

みんなの助っ人！
環境カウンセラー

73 波田 健一（はだ けんいち）

気象予報士の経験を活かし環境問題について講演する波田さん

気象から環境を伝える

幅広い講演活動を展開

【登録年度】
平成22年度・市民部門
【専門分野】
環境教育、地球環境問題、その他（気象・気候変動）
【活動エリア】
広島県内を中心に県外も可能

テレビの気象解説で活躍し、さまざまなイベントにも積極的に参加して普及啓発を行っている波田さんに、これまでの取り組みや環境カウンセラーとしての思いについて語ってもらった。

◆これまでの活動について

気象予報士として、十年以上ニュースや情報番組で気象解説を務めています。その経験を活かし、異常気象や地球温暖化、環境に関する取材などに取り組んでいます。また、NPO団体の運営のほか、その活動で小中学生を対象にした出前授業や、地域・市民などを対象とした講演、イベントなどを広く行っています。

◆カウンセラーになったきっかけ

気象予報士になって十年以上天気を見ていますが、自然環境が日々の天気や気候変動に大きく関わっていることを改めて実感しています。特に脱温暖化を目指すには自然環境の維持が必須で、「なんとかしなければいけない」と思ったのが直接のきっかけです。間接的には、十年ぐらい前に、ある環境イベントで弟の友人だった環保協職員と再会し、それをきっかけに職員の皆さんと親しくなりました。その交わりの中で勧められ、「気づいたらなっていた」という感じです。

◆これから住民と一緒に取り組みたいこと

個人としては、環境負荷の小さいまちづくりの実現にむけた研究をしていきたいと思います。そのために、二〇一一年度から、とある大学の通信過程で勉強中です。いずれは大学院、博士課程に進み、いろいろな人たちにその知識を還元したいと思っています。

これまでも、いくつかの公衛協主催の講演会やイベントで、脱温暖化をテーマに講師を務めていただいた波田さん。今後も、気象に着目した環境啓発活動に期待したい。

◇　◇

環境カウンセラーへの問い合わせは、環境カウンセラーしまなみ事務局【広島連塾S u s☆テラス】（〇九〇ー四〇三五ー九七九四・担当大西）まで

サニークッカーで目玉焼きを作る

環境と健康の学習ルーム
貸し出しグッズ紹介

⑤ 省エネ推進キット

気軽に無理なく取り組みを紹介

体験談を交えると効果的

当協会では、イベントや学習会で活用いただけるよう、さまざまなグッズを貸し出しています。

シリーズ5回目は、2月の『省エネルギー月間』にちなみ、省エネの普及啓発に役立つグッズを紹介します。

◆省エネ家電パネル

家庭からのCO_2排出状況や機器別のエネルギー消費量の割合、家庭での消費量が多い「エアコン」「冷蔵庫」「照明」「テレビ」の省エネ性能の経年変化や、省エネ効果が期待できる使い方などを紹介しています。

◆鍋帽子 Ⓡ

保温性に優れ、煮立った鍋に被せておくだけで料理が完成する「エコクッキング」の強い味方。加熱時間の短縮や余熱を使った調理を体験すると、省エネ効果が実感できます。

※鍋帽子は、全国友の会の商標登録Ⓡです。

◆ワットアワーメーター

家電のプラグを本体に接続し、本体をコンセントに差し込むだけで、瞬時に消費電力量や電気料金、CO_2排出量などを表示し、見落としがちな待機電力量も確認できます。

◆サニークッカー

パラボラ型の本体を太陽に合わせるだけで、太陽熱を利用した調理が体験できます。目玉焼きやポップコーン、煮込み料理など、いろいろな料理に使えます。

～活用事例～

地球温暖化防止活動推進員の三浦展義さん（福山市沼隈町）は、小学校等で省エネ学習の講師として活躍している。スライドを使った学習のほか、「ワットアワーメーター」を使い、扇風機やテレビ、パソコン、掃除機、炊飯器など、身近な家電の消費電力や待機電力を測定・確認。実状を知ってもらうとともに、自身の体験も交えながら、気軽に無理なくできる省エネの取り組みを紹介。

また、「サニークッカー」を使った目玉焼き料理も実演し、楽しい体験を通して効果的に省エネ意識を啓発している。

今回紹介したもの以外にも、照明の省エネを啓発できる実験キットや風力発電を体験できるグッズなどを揃えており、当協会HP（http://www.kanhokyo.or.jp/）で紹介しています。

（地域活動支援センター）

環境と健康の学習グッズの貸し出しのご案内

環境と健康の学習ルームでは、環境学習や健康学習、ごみ問題に関するグッズを無料で貸し出すことにより、地域や学校における体験的な学習活動やイベントなどの活動を支援しています。

かんほきょう　検索　クリック！

財団法人広島県環境保健協会　地域活動支援センター
電話:082-293-1512　URL:http://www.kanhokyo.or.jp/

貸し出しの流れ

申請書提出 申し込み → グッズ借用申請書（様式1）
※事前に空き状況をお問い合わせください
→ グッズの貸し出し → ご利用 → 報告書提出 グッズの返却 → グッズ利用報告書（様式2）